

調 査 ・ 研 修 等 計 画 届 出 書

令和 7 年 1 月 7 日

瀬戸市議会議長 様

議員名 朝井 賢次

政務活動 として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

期 日	令和 7 年 1 月 2 1 日から 1 月 2 2 日まで（1 泊 2 日）	
調査先・研修名	地方議員研修会「人口減少時代の自治体財政」	
会場名（会場所在地）	東京都新宿区西新宿 リファレンス西新宿大京ビル	
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	人口減少が本市に与える影響を分析していく必要があると考え、世界一わかる財政基礎研修及び財政破綻に向かう自治体財政について受講する。 自治体財政についての「現状分析」「課題の特定」「持続可能な施策の提案」を研修することにより地域活性化の方策立案に繋げていく。 1 月 21 日 14 時～16 時半「世界一わかる財政基礎研修②」 1 月 22 日 10 時～12 時半「財政破綻に向かう自治体財政①」	
議長名の依頼	要 ・ ☒ 不要	依頼先（名称）
同行者名	西本 潤	

※行程表を添付してください。

調 査 ・ 研 修 等 報 告 書

令和 7 年 1 月 2 8 日

瀬戸市議会議長 様

議員名 朝井 賢次

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和 7 年 1 月 2 1 日から 1 月 2 2 日まで（1 泊 2 日）
調査先・研修名	地方議員研修会「人口減少時代の自治体財政」
会場名（会場所在地）	東京都新宿区西新宿 リファレンス西新宿大京ビル
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	人口減少が本市に与える影響を分析していく必要があると 考え、世界一わかる財政基礎研修及び財政破綻に向かう自治 体財政について受講する。 自治体財政についての「現状分析」「課題の特定」「持続可能 な施策の提案」を研修することにより地域活性化の方策立案 に繋げていく。
研修で学んだこと・キーワード等	
1 月 2 1 日 14 時～16 時 30 分 「世界一わかる財政基礎研修」（自分のまちの財政をみる） 立命館大学政策科学部教授 森 裕之氏 人口はどう推移しているのか→人口規模と財政力及び人口密度と財政負担を確認 ↓ 「自治体財政の特徴は歳出にあらわれる」 補助金や地方債は一般財源の支出に連動して増減するものにすぎない。人口が増え ている時代においては財源も連動して増えたことから、自治体は拡大する住民ニー ズに合わせて歳出を組み立てればよかった。人口減少・高齢化が進む現在において	

は「拡大する住民ニーズとひっ迫する一般財源」との間における難しい政策判断が各自治体に求められている。

自治体財政における目的別歳出と性質別歳出の確認→自治体財政の分析においては性質別歳出の方が重要

経常収支比率は最も基本的な指標→経常収支比率が高いほど財政硬直化を招いており公共施設やインフラの整備などの「建設事業」へ回すための財源が確保できなくなる。

歳出を見る場合の注意点（総論）

：各歳出項目の大きさだけを見ず、その中に含まれる一般財源の負担分をみる。

：建設費（投資的経費）はその後の維持管理がすべて自治体の一般財源の負担で賄われなければならないことに注意する。

（各論）

目的別歳出→各項目には建設費（投資的経費）が含まれているため、経費の大きさだけから事業規模を判断してはならない（事業規模が大きいからといってサービス水準が高いとは限らない）

性質別歳出

・人件費と物件費はセットで捉える事で一般会計における実質的な人件費の大きさを見なければいけない。

・繰出金と補助費等は、公営企業や一部事務組合等への支出であることから、一般会計とこれからの各会計との関係に注意する。

・性質別歳出の費目ごとに経常収支比率が示されているため、経常収支比率の問題を考える場合には性質別歳出の各費目の占める割合に着目する。

財政収支は自治体運営の最重要課題である。将来の人口減少・高齢化を見据えた場合に、現在の計画、政策、施策をどの様に評価するべきか。

「お金がない」の意味をしっかりと考えることが重要である。

1月22日 10時から12時30分

「財政破綻に向かう自治体財政」（国の方向性を確認する）

立命館大学政策科学部教授 森 裕之氏

基本確認

財政制度等審議会「我が国の財政運営の進むべき方向」

「社会保障制度、公共サービス、社会資本等これまでの日本を支えてきた社会経済システム等を将来の我が国の形に合わせて大胆に見直していくことが不可欠である。課題解決を先送りする時間的な余裕は残されていない。」

地方財政制度審議会「地域経済の好循環及び持続可能な地域社会を持続可能な地域社会を実現するための地方財政改革についての意見」

「地方自治体が、社会経済情勢の大きな変化に柔軟かつ的確に対応し、人々の生活

を守り、住民が幸せに暮らすことが出来る持続可能な社会の実現につながる。」

国と地方のせめぎ合い！

骨太の方針 2024（経済・財政新生計画）

- ・計画の対象期間・・・人口減少が本格化する 2030 年度までの 6 年間
- ・財政健全化の「旗」は降ろさずに 2025 年度の国、地方を合わせた PB 黒字化を目指すとともに、計画期間を通じ、その取り組みの進捗・成果を後戻りさせない。
- ・予算編成においては、2025 年度から 2027 年度までの 3 年間に於いて、これまでの歳出改革努力を継続する。

地方財政審議会意見（令和 6 年 12 月 6 日）

地方一般財源総額の確保等

一般財源総額について、経済、物価動向等に配慮しながら、人件費や社会保障関係費をはじめ、増加する行政需要に係る経費を適切に地方財政計画の歳出に計上し、必要な一般財源総額を確保すべき。

効果的・効率的な支出の推進

- ・デジタル化の推進・公共施設等の適正管理・公営企業の経営改革

財政ひっ迫に備える

国の「経済・財政新生計画」（2025～2030 年度）では、これまでの財政再建方針が継続する。ただし、広域での都市圏のコンパクト化、広域連携、自治体 DX 等が非常に強く打ち出されている事から、これらを前提とした地方財政計画は一般財源の保障しか行われない可能性がある。他方で、骨太方針 2024 では「全世代社会保障の構築」「少子化対策・子ども政策」「公教育の再生」「戦略的な社会資本整備」などの重点政策が掲げられており、これらは個別自治体としては有利な財源措置が取られていくことは間違いない



地域の将来像を見据えて、一般財源と国の重点政策をうまく組み合わせていくことで、自治体の財政マネジメントに取り組んでいかなければいけないといけな

【所感】

今回の研修で自治体財政の基本を再確認し、かつ地方財政計画に基づいた補助メニューのトレンドを知る事で、予算審議に有効な知識が吸収できた。財政は本市の行政運営において非常に重要であり、市民サービスや市民福祉に直結している。そのため持続可能な財政運営を提言していき、責任をもって議決していくことは、議会議員の矜持ともいえる。内容としては、収入と支出のバランス、税収の確保、地方交付税の役割等、具体的な財政運営のメカニズムについて学ぶことが出来た。今回の研修で得た成果を地域社会に貢献するための政策提言の一助としていく。

行程表

乗り換え案内ヨルダン <http://www.jorudan.co.jp/>

※往復利用の場合は、往復料金を入力してください。

日付	出発駅	交通手段	片道 ／ 往復	到着駅	距離		交通費			
							運賃		特急料金 等	
7 年 1 月 21 日	瀬戸市駅	愛環	片道	高蔵寺駅	6.2	km	280	円		円
	高蔵寺駅	JR	片道	名古屋駅	24	km		円		円
	名古屋駅	JR	片道	東京駅	366	km	6,600	円	4,720	円
	東京駅	地下鉄	片道	西新宿	8.7	km	210	円		円
						km		円		円
日	宿泊先名称				TEL		宿泊料金			
	西鉄イン新宿(西新宿)				03-3367-5454		18,000 円			
備考欄										

29,810 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費			
							運賃		特急料金 等	
7 年 1 月 22 日	西新宿	地下鉄	片道	東京駅	8.7	km	210	円		円
	東京駅	JR	片道	名古屋駅	366	km	6,600	円	4,720	円
	名古屋駅	JR	片道	高蔵寺駅	24	km		円		円
	高蔵寺駅	愛環	片道	瀬戸市駅	6.2	km	280	円		円
						km		円		円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金			
							円			
備考欄										

小計 11,810 円

日付	出発駅	交通手段	片道／往復	到着駅	距離		交通費			
							運賃		特急料金 等	
年 月 日						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
	宿泊先名称				TEL		宿泊料金			
							円			
備考欄										

バック等による割引など

小計 0 円

2,720 円

宿泊費 合計

交通費 合計

18,000 円

23,620 円

申請額合計
(宿泊費+交通費-割引代)

38,900 円